

ホイール取付け作業時の注意事項

概要： 車輪脱落防止のための正しい車輪の取扱い方法について

モデル： 全車両

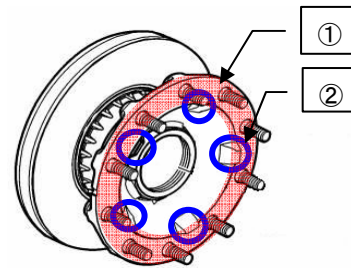
内容： ホイール脱着・交換作業時の注意事項

1. ディスクホイール、ハブ、ホイールボルトの確認・清掃

- ◆ ディスクホイール取付け面、ホイールナット当たり面、ハブ取付け面、ホイールボルト、ホイールナットの錆、ゴミ、泥等の汚れを取り除きます。
- ◆ ハブとディスクホイールの接触面の錆はきれいに取り除いてください。また、ディスクホイール取付け面やホイールナットの当たり面への塗装は行なわないでください。適正なトルク管理が出来なくなります。

1) ディスクブレーキ装着車両

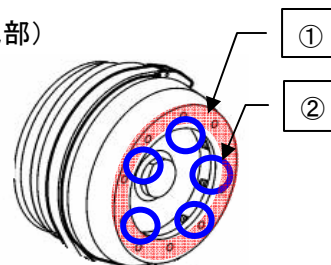
- ① ハブ取り付け面(ホイールとの接触面)の錆、汚れ等を取り除きます。(赤色部)
- ② ホイールはめ合い突起部についても上記同様に錆、汚れ等を取り除きます。(青丸部)



2) ドラムブレーキ装着車両

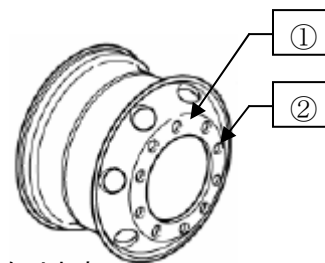
- ① ホイールとの接触面の錆、汚れ等を取り除きます。(赤色部)
- ② ホイールはめ合い突起部についても上記同様に錆、汚れ等を取り除きます。(青丸部)

※ ブレーキドラムを外した場合、ディスクブレーキ同様、ハブ取付け面(ドラムとの接触面)の清掃が必要になります。



3) ホイールの取扱いについて

- ① ハブ(またはドラム)やホイールとの接触面の錆、汚れ等を取り除きます。また、接触面への塗装を行なわないでください。適正なトルク管理が出来なくなります。
- ② ホイールナット当たり面についても錆、汚れ等を取り除きます。また、ホイールナット当たり面についても塗装を行なわないでください。適正なトルク管理が出来なくなります。



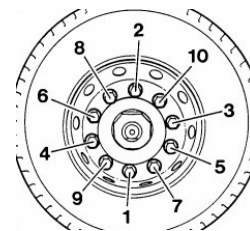
2. ホイールナットの締付けについて

- ① ホイールを取付け、ホイールナットを仮締めします。
- ② 図の順序でホイールナットを規定トルクで締付けます。

締付けトルク $200 \pm 8 \text{Nm}$

- ③ 次に、同じ順序でホイールナットを角度法にて締付けます。

締付け角度 $90 \pm 10^\circ$



注意: ホイールボルトとホイールナットのオイル潤滑の注意点

ホイールボルトの状態により、オイル潤滑必要性の有無があります。

潤滑部位及び判断方法につきましては、ボルボ・トラック正規ディーラーまでお問い合わせください。

3. ホイール付替え時の注意点

ボルボトラックにはアルミホイール用ホイールナットとスチールホイール用ホイールナットがあり、それぞれ互換性がありません。異なったナットを使用した場合、締付力が十分に得られず、ホイールボルトの折損やディスクホイール破損の原因になります。冬用タイヤ等への履き替え時には誤ったナットを使用しないようご注意ください。

注意！

軽度のケガや重大な人身事故、また製品への損傷を招く恐れがあるため、作業を行なう際には記載された内容を熟読し、慎重に実施してください。

※ その他、ご不明な点につきましては、ボルボ・トラック正規ディーラーまでお問い合わせください。

参考：車輪脱落防止のための正しい車輪の取扱いについて

社団法人 日本自動車工業会 ホームページ

(http://www.jama.or.jp/user/fall_off_wheel/index.html)

ボルボ・トラック・ジャパン
アフターマーケット部サービス